

これまでのいきさつ  
レキシントン町 エスタブルック小学校で実際に起こった一連の事件について、三回にわたって紹介してきた。「同性の両親がいる家族」を紹介する本と、同テーマを扱った授業中のディスカッションについて、幼稚園児の父親デイヴィッド・パーカーが抗議、学校からの立ち去りを拒否したため不法侵入罪で逮捕されたことが事件の発端となった。前号では、同校二年生の担任が、二人の王子が結婚する絵本「King and King」を授業中に読んだ件で、パーカーが町や公立学校を訴えたことを紹介した(註1)。これらの事件は、人気テレビ番組やインターネットで論争の的になり、学校関係者のもとに嫌がらせのメールや電話が殺到するようになった。

リベラルなマサチューセッツ州の中でもリベラルに偏っているというイメージがあるレキシントン町だが、政治的に保守的な古株の住民に加え、聖書に忠実なキリスト教徒のアジア系移民も少なくなく、タイム誌に登場した宗教右派の福音派教会もある。このグレースチャペル教会の人数は、交通整理の警察官が必要になるほどの週末の大渋滞で一目瞭然だ。百以上の中学生信者を対象にしたロックミュージック礼拝があり、日曜の朝だけでは信者をまかないきれずに土曜を含め複数の礼拝を行うというのは、巨大教会が珍しいくないバイブルベルト地域(註2)ならまだしも、ボストン近郊では驚異的な現象である。

エスタブルック事件は、宗教保守派の住民とリベラルな住民の間に既に存在していた潜在的な不和を表面に浮き上がらせるきっかけにもなったようである。  
事件のほとぼりがさめないある日、グレースチャペル教会と同じ通りにあるレキシントン高校で、恒例

の「沈黙の日(Day of Silence)」のイベントが行われた。これは、一九九六年にヴァージニア大学の学生が企画して始まった学生の手による全国規模のプロジェクトで、現在は「ゲイ・レズビアン・ストレート教育ネットワーク(GLESEN: Gay, Lesbian & Straight Education Network)」と「全米学生協会(the United States Students Association)」が共同主催している。この日は、差別や暴力を恐れて沈黙を虐げられているゲイやレズビアン、学生への共感と同情を示すために、賛同する学生と教師は一日を沈黙で過ごす。沈黙の日に引き続いて行われるディスカッションも含め、レキシントン高校ではこの行事で問題が生じたことはかつて一度もなかった。

バトルグリーン/連載エッセイ9

渡辺 由佳里

エスタブルック事件の余波

はよその町から来た者が多かったが、学校の敷地内にジョーカーズは敷地からの立ち去りを求めたが、彼らは学校のすぐ外に移動してデモを続け、彼らに挑発された高校生との間の口論が小競り合いにエスカレートした。校内でもかつてない緊張感が生じていた。男女が手を繋いだイラストに「こうあるべきだ」とコメントしたスティッカーを胸に貼り無言の抗議運動を行う学生と「沈黙の日」を支持する学生たちの間に敵対心が募っていたのである。

ある宗教保守派の知人は、無言の抗議運動は「リベラルな雰囲気のある学校で沈黙を強いられるささやかな反発」と説明してくれた。キリスト教の教えに従い「結婚は男女間だけのもの」と信じる彼らは、同性愛を支持しないと非難される雰囲気のある学校では、自分の信念と価値観を否定されているように感じると言うのだ。しかし、「沈黙の日」に参加した学生の反応は、「これ

プロフィール



わたなべ ゆかり・1960年兵庫県生まれ。京都大学医療技術短期大学部卒、同大学部専攻科修了。京都大学医学部付属病院に三年間勤務。その後ロンドン留学、日本語学校のコーディネーター、医療製品製造会社勤務などを経験。2001年、『ノーティアーズ』で第七回小説新潮長篇新人賞を受賞。2003年、二作目『神たちの誤算』を発表。現在はボストン郊外レキシントン市で夫と娘の三人暮らし。翻訳やエッセイ執筆の日々を送る。  
<著者のブログ>  
<http://watanabeyukari.weblogs.jp/>

は抑圧されている者への共感を示す日で、共感しない者を非難するためにあるのではない。それなのに、なぜさらに同性愛を攻撃するのか」という反感のみであり、両者の隔たりはかえって広がった。

このような町民の不調和につけ込むかのように、白人優越主義者団体がレキシントン町にやってきた。アーカンソー州に本部を持つ差別団体の「ホワイト・レボリューション(以降WRと省略)」が、エスタブルック小学校で「エスタブルック」という資金集めのイベントが行われる日に、「独立戦争の勃発地レキシントン町で全国の白人優越主義者団体に革命を呼びかける」集会を行うことを宣言したのである。

- 註1 下記の「エスタブルック事件参考サイト」文献、『たからまがじん』2007年10月・11月・12月号をご参照ください。
- 註2 バイブルベルト:アメリカ合衆国の中西部から南東部にかけて複数の州にまたがって広がる地域で、福音派プロテスタントが熱心に信仰され生活の一部となっている地域。(ウィキペディアより抜粋)

**エスタブルック事件参考サイト**

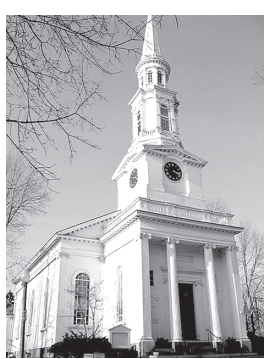
【Lexington C.A.R.E.S.、レキシントン公立学校教育長、レキシントン検察長による共同声明】  
<http://www.lexingtoncares.org/LPSPressRelease2005-05-02.pdf>

【Lexington C.A.R.E.S. による記事】  
HYPERLINK "<http://www.lexingtoncares.org/LearnTheFacts.html>"  
<http://www.lexingtoncares.org/LearnTheFacts.html>

【Article 8 Alliance による記事】  
HYPERLINK "[http://www.article8.org/docs/news\\_events/parker/main.htm](http://www.article8.org/docs/news_events/parker/main.htm)"  
[http://www.article8.org/docs/news\\_events/parker/main.htm](http://www.article8.org/docs/news_events/parker/main.htm)

**参考文献**

Time: "Feels Like Teen Spirit", August 8, 2005.



レキシントン町とレキシントン公立学校、レキシントン警察は、たった数ヶ月の間に、父兄の逮捕、複数の訴訟、高校での争い、白人優越主義者団体/ハイトグループのデモ、マスコミからの取材攻撃といった数多くの難問への対応を迫られたのである。